

17. 自己資本の状況

Q 自己資本比率の状況

当組合では、多様化するリスクに対応するとともに組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の最重要課題として取り組んでいます。

30年度は第8次中期3ヵ年経営計画に基づき、JA自己改革の実践、単年度計画の達成、不良債権の発生防止、業務の効率化並びに内部留保等に向け事業を展開しました。

組合員や地域の皆様に様々な企画やイベントを交えたJAの総合事業を展開した結果、新たな減損損失処理の発生もありましたが、当期剰余金は204,238千円の黒字計上となり、平成31年2月28日現在における自己資本比率は、11.57%で終了することができ、前年より0.27%上昇しました。

また、財務基盤強化のため、自己資本増強に取り組んでおり、平成30年度末の自己資本額は、対前年比184百万円増の39億円余となっています。